

議会だより おかがき

No.99 6月定例会 平成26年7月25日発行

福祉の充実に向けて ● 2

町政を問う ● 3～6

一般質問



町政を問う 一般質問

曾宮

下水道管の老朽化に対する扱いは

町長

改修を計画的に実施したい



曾宮 良壽 議員

曾宮 高尾・旭西・旭東・旭中・旭南の下水道管の現状はどうなっていますか。

町長 供用開始から40年程経過しており、ヒューム管の老朽化が進んでいると考えられます。平成24年度に団地造成で盛土部分の管路施設調査を行い、異常がないことを確認しました。

曾宮 今後、本格的調査を計画的に行い、ヒューム管から現在の設置基準の塩ビパイプへの更新を進めるべきではないですか。

町長 目視できないヒューム管内の劣化状態を把握するため、計画的にカメラ調査を行い、緊急度、健全度評価によ

り、国の補助メニュー等を活用して、改修を計画的に実施したいと考えています。

曾宮 中央公民館施設への苦情・要望等の把握はしていますか。

教育長 トイレの洋式化と陶芸所の窯の買いかえ要望があります。陶芸所は昭和61年度に建設され、老朽化が進んでいます。また2つの窯のうち古い窯について、買いかえ要望があります。

曾宮 現状、多くの町民に愛



陶芸所 (中央公民館)

される施設として利用も拡大しているなか、築後年数も経過し、テニスコート、弓道場、陶芸所周りのプレハブ等も含めて、公民館全体の改修・改築等を計画すべきではないですか。

町長 町全体の公共施設の

あり方について長期的・全体的な視点で、長寿命化・統廃合・建てかえ等検討します。中央公民館については、町の社会教育の中核施設として、今後策定する公共施設等総合管理計画の中で、具体的検討を進めます。

小野

緑豊かな三里松原の再生方策を

町長

次世代につなぐ松原の保全に努める



小野 元次 議員

課題に掲げ、日本の白砂青松100選の三里松原を守る方策に取り組みませんか。

町長 三里松原の海浜の侵食や松枯れが続けば、飛砂や塩害等により私たちの日常生活にも大きな影響が想定され、町民全体で美しい岡垣の自然環境を守り、次世代につながる保全活動に取り組むことが重要な課題と考えます。

「今、町にできることを」との考えから、松葉かきや松苗の植樹、竹林・雑木の伐採など行政と住民の協働による取り組みを進めています。

あり方について長期的・全体的な視点で、長寿命化・統廃合・建てかえ等検討します。中央公民館については、町の社会教育の中核施設として、今後策定する公共施設等総合管理計画の中で、具体的検討を進めます。



松枯れ伐採

小野 長野県泰阜村(人口1,769人、730世帯)では、村民のための政策メニューを公表し、村単独事業の施策を遂行する目的で「ふるさと思いやり基金条例」を制定し、村づくりに活用しています。

次世代へつなぐ三里松原再生に向けた岡垣町独自の協働のまちづくり方策として考えてみませんか。

町長 現在、それぞれの趣旨・目的ごとにさまざまな募金を町民の方にお願ひしています。松枯れで変わり行く松原の保全に取り組む手段として、募金や基金の創設が最良なのか、慎重に検討する必要があります。

西

ボランティアセンターの課題は

町長 若年層の人材確保である



西 美千代 議員

適切に行い、センターの役割を十分に果たせるよう改善を図っていきます。

西 さまざまな世代の人が継続的かつ気軽にボランティアに参加するための仕組みとして、ボランティアポイント制度の導入の考えについてお尋ねします。

町長 総合的なボランティアポイント制度の調査研究を行い、介護ボランティアポイント等に取り組んでいきたいと考えています。

西 ボランティア団体や個

町長 センターでは、ボランティアを必要とする人とボランティア団体とのコーディネートやボランティア団体間の相互交流、育成講座、活動支援のほか、多くの窓口相談対応を行いました。

今後とも広報活動やボランティアの育成、団体が抱える課題等を把握して活動支援を



人の方たちにこれからのまちづくりへの参画を促すことにより、協働のまちづくりが進むと思いますので、ぜひ進めてほしいと考えます。町長の考えを伺います。

町長 近年、ボランティアア

広渡

高齢者福祉のさらなる充実を

町長 地域包括ケアシステムの構築に努める



広渡 輝男 議員

体の高齢化が進んでおり、若年層の人材確保が課題です。今後も若い世代の人材確保に努め、将来的には審議会などの委員として、まちづくりへの積極的な参画をお願いしたいと考えています。

町長 目の具体的な取り組みに着手し、一定の成果をあげています。しかし、岡垣町では高齢化が進み、要介護認定者や、ひとり暮らし高齢者も増加しており、多くの課題があると認識しています。

広渡 次期高齢者福祉計画の地域包括ケアシステムの5つの分野、「介護リハビリテーション」「医療・看護」「保健予防」「福祉・生活支援」「住まいと住まい方」の構築と推進体制をどのように取り組まれるのかお尋ねします。

町長 次期高齢者福祉計画には、高齢者へのアンケート調



健康体操

査等で課題を整理し、地域包括ケアシステムを実現するため、5つの領域における具体的な取り組みを盛り込んでいきます。

広渡 高齢者福祉計画には特別養護老人ホームの待機者解消を図るとされていますが、増設・増床にどのように取り組まれるのかお尋ねします。

町長 特別養護老人ホームは多くの待機者を抱えており、可能な限り早期に施設整備を実現したいと考えています。

平成26年度に見送った80床の取り扱いについては、平成27年度中に整備できるよう次期福岡県高齢者保健福祉計画に盛り込むことを県に要望していきます。

平山

集団的自衛権行使について見解を

町長

首長としての答弁は差し控える



平山 弘 議員

平山 憲法第9条についての町長の見解をお聞かせください。

町長 憲法は平和を希求する、戦争はしてはならないとされている。その通りだと思います。

平山 第9条は、「我が国自身は外部から武力攻撃を受けた場合における必要最小限の実力の行使を除き、国際関係において武力を用いることを広く禁ずるものである」と解されています。

安倍内閣は、憲法を勝手に解釈して「戦争する国づくり」を進めています。

世論調査では、国民の多数は「戦争する国づくり」に反



対です。

次に行政から独立した教育委員会を国と首長の支配のもとに置こうという法改正が国に出されています。

町長、教育長はどのような見解でしょうか。

町長 教育の政治的中立性、公平性が担保されたうえでの法改正については、おおむね評価できると考えています。

今後ともまちの将来を担う児童生徒が、安全で快適に学習できるような教育委員会と十分

に協議を行い、政治的中立性を認識したうえで、教育行政の推進に努めていきます。

教育長 法改正については、私からは見解を述べる立場ではありませんが、教育委員会

安部

世界を目指した教育環境の整備は

町長

国際感覚を深める取り組みを



安部 弘彦 議員

えはありませんか。

町長 子どもたちが外国人との交流や研修を通して、国際感覚を身につけ国際理解を深めるために、岡垣国際交流協会や剣道団体等の民間団体と連携しながら取り組みを進めています。また、岡垣国際交流協会には英語を重視した事業展開に力を入れてもらうよう伝えていきます。

安部 子どもたちの教育環境の整備や教育の方向性についてどのように考えていますか。

町長 教育環境の整備は、まちづくりの大事な施策であることは十分認識しています。

の諸施策を着実に実施していくために今後も町長部局と綿密な協議を行いながら、教育行政を推進していきたいと考えています。



今後も子どもたちが、安全で快適に学習できる環境づくりに努めます。

教育長 今年度から、本格的に小・中学校の連携事業として、教員の英語指導力向上や小学校から中学校へ教育内容が円滑に引き継がれるよう取り組みます。

外国語指導助手については、民間事業者への委託を予定しています。そのノウハウを最大限に活用し、授業内容や指導方法における工夫改善を進めます。今後も英語教育の推進に必要な教育環境整備については、町長部局と調整を図っていきます。

議会の動き

3月定例議会終了後の本会議・委員会・協議会等についてお知らせします。

日時	委員会等	議 題
3月24日	議会広報	議会だより編集
4月 3日	議会広報	議会だより編集
4月 7日	全 員 会 協 議 会	住民懇談会事前協議
4月11日	議会広報	議会だより編集
4月18日	文教厚生	閉会中の継続調査
4月21日	総務産業	閉会中の継続調査 (宗像観光協会・鞍手町・ 株式会社ふくれん視察)
4月24日	住 民 会 懇 談 会	・平成26年度当初予算 審議状況 ・議会活動状況 ・意見交換会
5月19日 ～21日	総務産業	行政視察研修 (香川県高松市・高知県高知市・ 岡山県吉備中央町)
5月22日	議会運営	第2回定例会
5月22日	議会運営 (協)	住民懇談会のまとめ・視察 研修について
5月30日	文教厚生	閉会中の継続調査 (はまゆうサポートセンター視察)
6月 4日	本 会 議	6月定例議会開会 上程・委員会付託
6月 4日	議会広報	議会だより編集
6月 5日	本 会 議	一般質問(4名)
6月 6日	本 会 議	一般質問(3名)
6月 9日	総務産業	付託案件審査
6月10日	文教厚生	新型インフルエンザ等対策 行動計画ほか
6月11日	全 員 会 協 議 会	第2次男女共同参画基本計 画後期実行計画の策定ほか
6月11日	議会運営	追加議案
6月12日	連 合 会 審 査 会	付託案件審査
6月16日	本 会 議	6月定例議会閉会 追加議案の上程・議決
6月16日	議会広報	議会だより編集

中村

若い世代のまちづくりへの参画を

町長

人材育成や情報発信を強化していく



中村 好伸 議員

中村 空き家には、放火・崩壊・犯罪の温床等のリスクがあります。町内400軒余りの空き家対策についてどのよ

中村 このままだと今後も増え続ける可能性が高いです。

町長 空き家の所有者または管理者は、賃貸・売却等の支援に対するニーズが高いことから、平成25年4月に空き家バンクを立ち上げ、空き家への定住促進を図っているところです。

うに考えていますか。

町長 現施策の実績等よく吟味し、定住促進施策の一環として、他の事業とも関連づけながら総合的に推進を図っていきます。

中村 町職員は、町民に対して「おもてなし」の精神で接することができていますか。

町長 今以上に住民がより親しみやすい、より役に立つ場とするため、新たな行動基準を設けるべくワーキングチーム

町長 自治区・コミュニティの後継者育成や行政への関心を高めるため、子どもの頃から町へ愛着や誇りを持つ人材の育成に努めます。また、積極的に情報発信するため、若い世代に広く利用されている

ただ売ったりするだけでなく、民間と連携して、もっとうまく活用すべきだと考えますが。

ムを編成して調査研究を行う予定です。また、民間企業経営者の講演会を実施し、やりがいのある職場づくりなど学んでいます。

中村 今後も、協働のまちづくりを継続していくためには、より多くの若者の参画が不可欠だと考えますが。

町長 自治区・コミュニティの後継者育成や行政への関心を高めるため、子どもの頃から町へ愛着や誇りを持つ人材の育成に努めます。また、積極的に情報発信するため、若い世代に広く利用されている



うさぎ坂55

SNSの活用等検討していきます。



視察研修レポート

総務産業常任委員会

日時 平成26年5月19日～21日

視察先 香川県高松市

高知県高知市

岡山県吉備中央町

視察の目的

- ・商店街の再開発について
- ・観光振興策について
- ・農業振興活性化策について

高松丸亀町商店街では、再開発によるまちづくりを「定期借地権」の活用で進めています。

高知市では観光資源の豊かさに安住せず、他自治体と連携しながら振興計画を持ち、具体的数値目標を掲げて取り組みを進めています。

吉備中央町では、どこの自治体でも課題としている荒廃農地・後継者難・過疎化を再確認する中で、農業を基幹産業に位置づけて、本気で振興に取り組んでいます。



吉備中央町



高知市



高松丸亀町商店街

文教厚生常任委員会

日時 平成26年6月24日～26日

視察先 長野県茅野市

駒ヶ根市

岡谷市

視察の目的

- ・福祉21ビジネスプランについて
- ・駒ヶ根市第5次総合保健計画について
- ・第2次岡谷市健康増進計画について

当委員会では、昨年度より「健康づくり」をテーマに取り組み議論しています。

積極的に健康づくり事業を展開している長野県内の先進地、茅野市・駒ヶ根市・岡谷市を訪ねました。私たちは、生涯にわたって穏やかに、健康で安心して、ともに生きる社会の形成を学びました。

健康長寿を目指す取り組みとして、生活習慣病などの予防や健康診断の受診、そして自らが健康を支える運動・栄養の重要性を知り得ることが大切だと感じました。



岡谷市



駒ヶ根市



茅野市

岡垣町の

ここはどこ？

祭神豊玉姫命は、海の神様で、寛永11年（西暦1634年）に創建された。

昔は、八大龍王を祀っていた。この神社の祭礼の方法は、毎年8月7日の風止祭で行われるおみくじ（灯明＝不作、汐井＝平年作、神幸＝豊作）で、今年の稲作を占うしきたりがある。

10月13日（14日）のおくんちは、風止祭で御神幸のくじをひいた年だけ神輿が出される。

この近くには、スポーツ広場がある。



No.98の岡垣町の「ここはどこ」の答えは、金毘羅山、白峯神社でした。

会議録を閲覧してみませんか



- ◆会議録検索システムは、議会本会議記録を議会ホームページで検索閲覧できるシステムです。
- ◆会議録は議会事務局やサンリーアイで閲覧できます。（詳しくは議会事務局まで）

どうぞ
傍聴席へ

次の定例会は

9月5日(金)
開会の予定

岡垣町4・5・6月の主な出来事



焼酎岡垣 芋苗の植え付け



おんがレガッタ出場



水道まつり



ラブアース・クリーンアップ

編集後記

小野 元次

6月、我が家の狭い裏庭の木々は、濃緑を描いている。そろそろ、檜の剪定で一汗をかく時期だと考えた。

その檜には、毎年春、つがいの山鳩が営巣する。今年も4月16日早朝に「ヴォポッポウ！ヴォポッポウ！」と鳴いていた。来た！うれしさもつかの間、翌朝には姿を消した。

そういえば、4月初旬、若いカメラマンが、地域交流センターのビル屋上に向けて、カメラを構えていた。「町なかで、ハヤブサの営巣は珍しいです。周辺に、餌が多いからでしょう。鳩や山鳩を狙います」と言っていた。

心配だ。巣をこのままにして、来年の春を待とう。しかし、編集後記の締め切りは、待たない。

発行責任者
議長 市津 広海
議会広報特別委員会

委員長 安部 弘彦

副委員長 神崎 宣昭

委員 横山 貴子

委員 小野 元次

委員 曾宮 良壽

委員 西宮 美千代